Digest Shizuoka ダイジェスト静岡

日本有数のモノづくり県〝静岡〟。グローバルな展開を見せる大手企業や独自の技術、製品で頑張る中堅・中小企業が数多く存在する。東日本大震災やタイの洪水、超円高などで揺れ動いた2011年度（11年4月－12年3月）の同県の動きを日刊工業新聞掲載の記事で振り返ってみる。

新興国の製・販を増強

11年4月

▽スズキ　東日本大震災の影響で止めていた相良工場の操業を4日から再開。国内全体の稼働率は約50%の見込み。部品の調達状況を見て調達可能な車両のみを生産。

▽ユタカ技研　本社工場内に事務所兼倉庫の新棟建設。高丘製作所のブレーキ部品を移管。

▽ジャトコ　副変速機付無段変速機（CVT）の中国生産を開始。日産向け供給。

▽富士機工　社長に久田修義ジェイテクト専務が就任。

11年5月

▽ヤマハ発動機　本社近隣で不動産取得。表面実装機などの生産を移転。

▽ローランド　シンセサイザーの旗艦モデル発売。生楽器の音色を再現。

▽静岡大学　亜臨界水により塩分を含む木くずなどを粉末燃料にする技術を確立。東日本大震災被災地のガレキ処理に応用可能。

「東京モーターショー2011」で記者団に取り囲まれる鈴木修スズキ会長兼社長

11年6月

▽ケーイーコーポレーション　野菜洗浄システムを発売。葉物野菜のヒダの奥にある砂や花粉、チリ、ホコリまでを除却する。冷却水で鮮度も保持。

▽日静機械製作所　パンチングマシンなどの主要ユニットの無人組み立てラインを稼働。コスト競争力の向上を図る。

▽三明機工　ホンダのインド工場にダイカストマシン自動化設備を納入。

▽ヤマハ　歌声合成ソフトの新バージョン発売。リアルな歌声を実現。

▽岩間工業所　設置面積が他社従来機比3分の2の小型5軸MC発売。振動も同社従来機比60%抑制。

▽ホンダ　16年をめどに浜松製作所で変速機用ギアの浸炭工程をガス浸炭から真空浸炭に切り替える。環境負荷の低減を狙う。

▽有馬技研　鉛蓄電池を使った蓄電装置を発売。500ワットの機器で2時間使用可能。

11年7月

▽スター精密　タイに新工場建設。12年10月にNC自動旋盤などの生産を開始。

▽スズキ　フィリピンに2輪車の新工場新設。12年6月稼働で、年産能力20万台。

▽協立電機　13年6月期めどにFAシステムなどの組立工場をアジア・オセアニアに4カ所新設。日系企業のニーズに対応と、納期短縮につなげる。

▽エフ・シー・シー　12年3月に中国・四川省の2輪車用クラッチ工場を移転、拡張。今後の受注増に備えたもの。将来は4輪車用生産も視野。

▽浜松ホトニクス　中国に販売会社設立。12年10月に営業開始。

11年8月

▽エイケン工業　本社隣接地に新工場建設。12年初に稼働。車用フィルターの増産と地震対策。

▽ジャトコ　メキシコ工場を増強。13年3月めどにCVTの年産能力を81万台に引き上げる。北米を中心に日産向けなどの需要増に対応。

▽フジ精工　マグネシウム合金を丸パイプ材に押出成形する体制を構築。受注を開始。

▽鈴与　インドネシアの物流企業と合弁会社を設立。11年9月から営業開始。

▽レント　産業用機械レンタル事業でタイの営業拠点を拡充。

▽スズキ　インドネシア工場の4輪車部品の現地調達率を80%超に引き上げる。9月に調達支援チームを本社に発足。

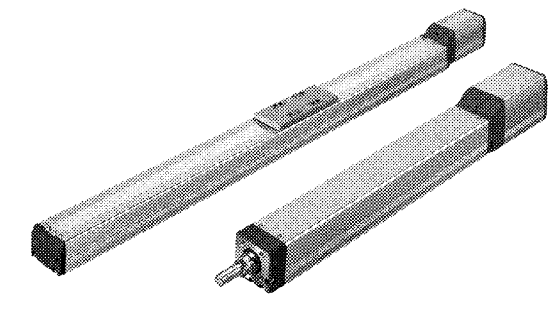
11年9月

▽平野鋳造所　12年5月めどに静岡県掛川市に新本社工場を建設。鋳物の月産能力を現在比約2倍の340トンに引き上げる。

▽アイエイアイ　電動アクチュエーター「RCP4シリーズ」を発売。可搬能力を最大で同社従来品比2・2倍に向上。加減速も1・4倍に。

▽スズキ　フォルクスワーゲン（VW）との業務提携と相互資本関係を解消。

▽電業社機械製作所　発電用循環水ポンプ（CWP）や灌漑（かんがい）用ポンプ分野で共同受注を目指し、インド企業と協業・技術提携。



アイエイアイの電動アクチュエーター「RCP4シリーズ」

▽スター精密　主軸移動型（スイス型）自動旋盤を12年3月に発売。刃物台を独立制御し、加工時間を同社従来機比30%短縮。

▽テクノコート　レーザー肉盛・溶接機に出力75ワットタイプを追加し、発売する。出力を同社従来機に比べ小さくして約20%低価格化。

▽曽根田工業　耐摩耗性が同社従来品比5倍以上の超硬チップ保持具を発売。先端部を鉄合金からタングステン合金に変更。

国内再編で競争力強化

11年10月

▽ヤマハ発動機　2輪車部品の開発機能の海外現地化を推進。15年めどに海外4カ所の拠点に移管。現地の市場ニーズに迅速な対応を図る。

▽エイディーディー　冷却ユニットの修理技術を台湾企業に供与する。省エネ対応の改造技術も供与。

▽ASTI　14年3月期めどに国内拠点を再編。生産効率化を図る。回路基板などを12年1月稼働の掛川新工場に移管。

▽大光製作所　クリスタルアート事業を拡大。ハワイに合弁会社を設立。

▽電業社機械製作所　ブロア・ポンプ全機種を全面改良。海外での販売競争力を高める。

11年11月

▽スター精密　欧州販売会社のモスクワ事務所を開設。

▽ヤマハ発動機　13年めどに次世代型エンジン部品加工ラインを導入。工具交換頻度の低減と加工精度の向上を両立させ、生産変動への対応力を高める。

▽スズキ　15年めどに中国・重慶市に新工場建設。年産能力を現在比2倍の50万台にする。

11年12月

▽電業社機械製作所　海水淡水化プラント向けエネルギー回収装置を投入。運転コストをターボチャージャー式に比べ40%低減。

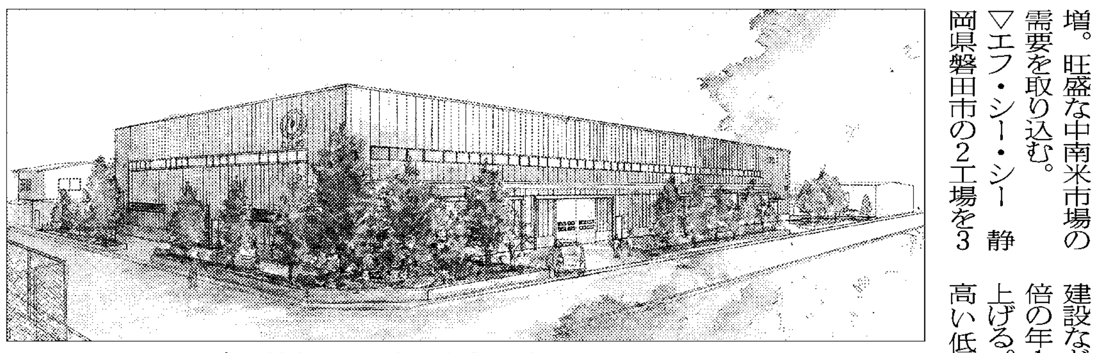
▽レント　茨城に新営業所開設。震災復興事業に対応。

ヤマハ発動機が新興国に投入するスクーター（1月の「デリーモーターショー」に参考出品したモデル）

▽イービジョンエンジニアリング　林業関連商品を拡充。軽量で使い勝手の良い木材集材システムを12年初頭に発売。

▽ヤマハ発動機　13年にアルゼンチン2カ所目の2輪車組立工場を建設。年産能力は12万台に倍増。旺盛な中南米市場の需要を取り込む。

▽エフ・シー・シー　静岡県磐田市の2工場を3－4年後をめどに閉鎖。津波と原発のリスクを考慮。生産機能は国内他工場に移す。



丸長鍍金が浜松市に建設する新工場のイメージ

12年1月

▽ヤマハ発動機　インドで2輪車の生産能力を増強。15年めどに新工場の建設などで、現在比約3倍の年150万台に引き上げる。現地需要が最も高い低価格モデルに照準。

▽浜松ホトニクス　複合機能製品の開発を加速。12年中をめどに事業部横断のプロジェクトチームを組成する。

▽アポロ電気　鉛蓄電池採用の低価格な非常用電源装置を発売。

▽南部化成　直管型LEDランプ5種を発売。3年後に売上高10億円を目指す。

▽ジャトコ　18年度売上高を1兆円に引き上げる目標を設定。新興国でのCVT事業を拡大。

12年2月

▽ビヨンズ　タイで変速機部品の生産を開始。14年にはサスペンション部品の生産も。

▽エイディーディー　マイナス100度Cを実現した超低温チラーを発売。ゴムの試験用に提案。

▽スズキ　14年めどに低価格小型車をタイで生産。年産約7万台。購買力が高まっている中・低所得層のニーズを取り込む。

▽サックス　検査装置事業に今秋参入。鋼材加工ライン向け。

▽杉本金属　タイでプレス部品の生産を開始。家電向けを生産し、その後、車部品の生産も。

▽TOKAI　13年3月に静岡県富士宮市に宅配水工場を建設。

▽日本プラスト　13年夏をめどに中国・中山市にエアバッグの新工場を建設。同国で3番目の工場。年生産能力は200万台で現地日系向けに供給。

12年3月

▽ヤマハ発動機　新興国で2輪車を強化。インドに今秋スクーターを投入。インドネシアやタイ、ベトナム販売の全モデルに燃費向上のため燃料噴射装置を搭載。15年12月期までに新興国販売台数を1000万台にする計画。

▽ジャトコ　13年までに中国とメキシコでCVTの生産能力を増強。日産自動車の海外生産増強に対応。

▽丸長鍍金　14年をめどに国内生産体制を再編。14年11月に浜松に新工場建設。コスト競争力を強化。

日刊工業新聞は
日本のモノづくりを応援します。

静岡県経営革新計画承認
静岡県トライアル発注選定品
低価格デジタルサイネージ
かんたん液晶ポスター
『でんポスくん』
紙から電子へ！　パワーポイントで作るデジタルサイネージ
展示会でのプレゼンに最適
◆リモコンタイプ
◆タイマー付タイプ（自動運転可能）
◆縦・横自在回転タイプ（TV視聴可能）
◆19インチ～55インチまで対応
縦→横
32インチ回転タイプ
浜松商工会議所会員
浜松馬郡工業団地
（有）鈴上電気　〒431-0203　静岡県浜松市西区馬郡町3762-58　TEL：(053)448-4826　FAX：(053)448-4214
URL：http://www.suzugami.co.jp　E-mail suzuki@suzugami.co.jp

レーザー式表面欠陥検査装置
Wire Inspector Line
高精度　数μmまで検知可能！
低価格　基本セットは210万円！
多用途　線材からカテーテルまで！
大石測器株式会社
【開発室】〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1丁目3-3-1 浜松インキュベートセンター-B5
TEL：053-428-7607 FAX：053-428-7607
http://www.ohishi-sokki.jp/　info@ohishi-sokki.jp

生産変動や多品種少量生産に対応可能な
マルチ粉体計量システム
コンテナ・超高精度計量装置・自動倉庫などでシステムを構成
おかげさまで創業40周年　40 Anniversary
コンテナシステム
コンテナと排出機構をドッキング。流動性の悪い粉粒体の完全排出に！
紙袋粉体吸引装置
パウダーワープ
コンタミ皆無の状態で、中身の粉体を次工程に吸引移送する装置。
ISO-9001
ISO-14001
認証取得
スプリット
バタフライバルブ
原薬製造など高薬理活性物質をあつかうプロセスでは「封じ込め」技術が重要です。そして原薬の小分け・容器間の移し替え、乾燥機や反応釜へ投入・排出などではスプリットバタフライバルブが多く使用されています。
運ぶ・貯める・計るを1つの機器で行う、オールインワンユニット
かるがるコンベア
振動ダンパー式フィーダ「かるがるフィーダ」に「吸引輸送装置」を合体させ、さらにロードセルにより排出量をコントロールすることに成功しました。
「運ぶ」・「貯める」・「計る」が、この一台で実現します。
吸引輸送装置（バキュームコンベア）
積算式計量装置
振動ダンパー式フィーダ（かるがるフィーダ）
その他取扱品目
連続定量供給装置、バッチ計量装置、小型吸引輸送装置、空気輸送装置、スクリューフィーダ、バグフィルタ、ロータリーバルブ、特殊布製サイロ、貯留サイロシステム
資料送付・テスト迅速対応！　TEL055-925-6666またはTEL03-3263-3407
赤武エンジニアリング株式会社
本社　〒410-0302　静岡県沼津市東椎路632　TEL(055)925-6666　FAX(055)925-6688
東京営業所　〒102-0072　東京都千代田区飯田橋1-5-8　TEL(03)3263-3407　FAX(03)3263-3405
●当社のホームページ及びE-mailアドレス　http://www.akatake.co.jp　info@akatake.co.jp

窒化も雰囲気制御の時代!!
営業品目
● ガス軟窒化
● 浸炭焼入、浸炭窒化
● 真空熱処理
● アルミT2～T6
● 焼入焼戻
● 光輝焼鈍、焼準
窒化センサ　熱電対　K_N調節計　K_N設定値　記録計　NH_3　N_2　H_2　NH_3分解ガス　CO_2　Air　MFC
株式会社 中遠熱処理技研　〒436-0083　静岡県掛川市薗ヶ谷840-1　TEL(0537)24-5566（代表）　FAX(0537)24-5567
URL http://www.chuen-ht.jp　E-mail takada@chuen-ht.jp

軽量化。コスト削減。マグネシウムで実現可能。
アルミ合金の押出材とほぼ同じ構造・強度を実現します！
1.8kg　1.6kg
重量は鉄製フレームの約1/5
材質：AZ31B　車いす用フレーム（試作品）　自動車用シートフレーム（試作品）　材質：AZ31B
ご要望に応じて、関連会社の「フジ精工(株)袋井工場」でパイプ・型材を製造いたします。パイプについてはφ50まで製造可能です。
オール軽量化 オール低価格
フジ総業株式会社　〒430-0926 静岡県浜松市中区砂山町328-11 スルガビル4階3号
TEL：053-455-7511 FAX：053-455-7512